

最近気のせい、日経などの記事に「貿易赤字、所得収支、経常収支、財政赤字」という文字が目につきます。つい数か月前に日本の貿易収支は 48 年ぶりに 1.8 兆円の赤字となったと記事を見て、いよいよ日本もここまで来たのかと暗然たる思いになりました所、2～3 日前には赤字 2.9 兆円になったと報じられました。

貿易赤字の主な原因は大震災と原発損傷などによる石油、ガスによる代替エネルギーの大幅なコストの上昇等であります。

貿易収支と並行して所得収支、経常収支と言う記事があります。少し古い資料ですが「外貨準備高」と言う用語が良く見かけます。

その国が国外にある資産、例えば日本の対外資産は凡そ 550 兆円です。そのうち政府の保有分は凡そ 100 兆円あります。この政府保有分が外貨準備高であります。

これらの対外資産 550 兆円から上がる利息、配当等が凡そ 10 兆円あり、これが所得収支であり、貿易、所得収支を合算したものが経常収支であります。

現在日本の経常収支は貿易赤字 2.9 兆円、所得黒字 7 兆円ですから差し引き経常黒字は凡そ 4 兆円あります。

かつて、所得黒字は 10 兆円代が続いてきたのですが、円高、利子減等減少が続いておりますので、資源の無い技術、貿易立国日本にとって貿易の回復は切なる願いであります。

今、国民を悩ませている課題に、「財政赤字」があります。

私はマスコミが書く財政赤字と国の赤字とは少し考えが違います。

我が国の資産は凡そ 5500 兆円、国の負債は凡そ 5200 兆円ですから、国の純資産は 300 兆円あります。

「財政赤字をマスコミは国民一人当たり 670 万円借金をしていると書きますが、正確には国民が国へ貸し付けているんだ」と日下公人は言っております。私も共感です。

E U で国債が大問題となっておりますが、E U は借入先が外国からの借金だからであり、国債には担保がない・・・からであります。

日本の国債の借入先は主に郵貯、銀行であり、その原資は現金、預貯金 800 兆円、株、保険等併せて 1500 兆円の個人資産であり、一人当たりの資産では世界で断崖であります。国債の返済が心配されておりますが、私が知る認識では明治以降、日清、日露、日支、太平洋戦争、戦後復興に発行された国債は、一度も国から返済されたこともなく、国民もまた返してもらった人が無いのです。

国債は 60 年で償還されることが決まっておりますが、近代社会は経済の急成長、インフレによって貨幣価値が全く変わってしまうからであります。しかも日本の国債は荒廃した日本をすばらしい近代国家と変え、世界の経済大国に育て、平和で安全、健康で美しい日本を造成したことに誰からも不満が生まれなかったのであります。

私がこの文を書くにあたって参考とした、日下公人著「アメリカ、中国、そして日本経済・・・」の中にこの貴重な日本の対外資産を守るためには、国土、国民、財産を守る国家としての毅然たる国家観を世界に勇気を持って示していかなければ対外資産の没収、不払いの危険が大であると、強く説いておりました。註) 小櫃の田園花火大好评でした。次は 9/29 小糸川花火大会です。